

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第1回文化財審議会
開催日時	令和4年6月28日(火) 15時00分～17時00分
開催場所	難波田城資料館 講座室
出席者	佐々木真理子委員、会田明委員、杜多堯慶委員、小林浩委員、塩野邦夫委員、山本長春委員、和田雅子委員 事務局（土田課長、堀副課長、佐藤主任、大野主事）
欠席者	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 議案事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 富士見市指定文化財の諮問について (2) 文化財保存事業補助金の交付について 2. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度文化財保護事業について (2) 令和4年度文化財保護事業について 3. その他
会議資料	・文化財保護事業に関する資料
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	佐々木委員
<p>会議内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議長・副議長選出 議長 → 佐々木真理子委員 副議長 → 会田明委員 3. 諮問書交付 4. 自己紹介 5. 議事 <ol style="list-style-type: none"> ① 議案事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 富士見市指定文化財の諮問について <p>事務局：先程、教育委員会から「難波田城跡土塁」の市指定文化財へ向けた諮問書が提出されたが、まず、「難波田城跡土塁」の概要について事務局から説明させていただきたい。</p> <p>→ 事務局から資料説明</p> <p>事務局：以上のとおり、難波田城跡土塁について説明させていただいたが、この土塁は難波田城跡の地上に残存する唯一の構築物であり、城郭の構</p>	

造を後に伝えていくためにも市の指定文化財へ指定すべき重要な文化財資料と考えている。委員の皆様にご審議いただきたい。

委員：現在、残っている土塁はこれだけとの話だが、当時は他にも土塁等の地上に残る遺構は存在していたのか？

事務局：現在土塁が確認されるのは、本丸西側にあたる今回の土塁だけであるが、堀とともに土塁は築かれるものであるため、戦国時代には曲輪を囲むようにして多数の土塁があったものと考えられる。実際に江戸時代の絵地図には多数の堀とともに土塁が曲輪を囲っている様子が確認されている。

委員：なぜ本丸の一部の土塁を残して、他の土塁は消失してしまったのか？

事務局：城館としては1590年頃に廃城しており、後世に田畑などの開墾で削平されてしまったものと考えられる。

委員：土塁は版築（土を突き固める築造方法）されて構築しているとのことだが、全国的にみてこのような土塁は珍しいものなのか？

事務局：土塁は防御施設として強固に構築されるものであり、どの城跡の土塁においても基本的に版築している。

事務局：本件については、また次回も審議を行っていきたいと思う。

（2）文化財保存事業補助金の交付について

事務局：毎年審議させていただいているが、本年も文化財保存団体連絡協議会より、文化財保存事業補助金交付申請書が提出された。富士見市文化財の保存及び活用に関する条例に従い、委員の皆様にご意見を伺いたい。

委員：郷土芸能を絶やさない為にも、補助金の交付は有効だと思うが、金額がやや少ないように感じる。財政的な面で難しい部分があると思うが、教育委員会としてはどのように考えているか？また、後継者不足を補うために補助金交付以外に教育委員会で検討・実施していることはないのか？

事務局：補助金の交付額については毎年200,000円を交付しているが、道具の修繕や新調など金額が足りないことも今後あるかと思う。その場合は、埼玉県で郷土芸能における補助金の申請を受け付けているので、そちらにも申請していただくよう、保存団体へはお願いしている。後継者不足への支援としては、学校授業の中で郷土芸能の体験をさせたいと相談を受け、団体との調整は随時行っている。実際、過去に学校側からの要望で子供たちへのお囃子の披露と体験を実施しており、子供たちに郷土芸能の魅力を知ってもらえるよう今後も支援してい

く予定である。また、市民全体に郷土芸能の魅力を周知するため、今年度にHPでお囃子や獅子舞の動画を公開していく予定である。

② 報告事項

(1) 令和3年度文化財保護事業について

事務局：昨年度実施した文化財保護事業のなかで、主要事業を挙げさせていただきたい。

→ 事務局側からの資料説明

事務局：氷川前遺跡第92地点出土の銅碗は市内初出土の遺物で、また県内でも出土例の少ないものがあるため、大変貴重な資料である。今後は、適切な保存処理をし、資料館等で展示するなどの様々な活用を検討していく。

(2) 令和4年度文化財保護事業について

事務局：今年度実施予定の文化財保護事業について、挙げさせていただいた。

→ 事務局側からの資料説明

事務局：今年度は新規に公民館で埋蔵文化財の写真パネル展示を企画・検討している。資料館の来館者とはまた別の層の来館者が対象となるため、その展示方法についてより一層の工夫が必要と考えている。

③ その他

特になし

6. 閉会